

⑤ 第5委員会

「水やエネルギーを大事にするまちづくり」



それでは、第5委員会の意見を発表します。

第5委員会のテーマは、「水やエネルギーを大事にするまちづくり」です。

このテーマについて考えるため、^{わたし}私たちは、8月18日に水の歴史資料館^{しりょう}の施設見学^{しせつ}を行いました。

そこで、^{わたし}私たちは、まず下水道^{びせいぶつ}については微生物^{びせいぶつ}を使って水をきれいにしていたことを見ました。そして、自然^{しぜん}を使って水をきれいにしていることがすごいなと思いました。また、水をきれいにするまで12時間もかかることがわかりました。安心面^{あんしんめん}については、^{きび}厳しい水質検査^{すいしつけんさ}をして安心して水を飲めるようにしていることを知りました。そして、安心して飲めるようにいろいろな人が苦勞^{くろう}してかかっていることがわかりました。災害面^{さいがい}については、災害^{さいがい}に備えて給水タンク車^{きんすいタンク車}や地下式給水栓^{ちかしききんすいせん}などに工夫^{くふう}がしてあることを見ました。そして、もしものときに地下式給水栓^{ちかしききんすいせん}など、より自分でできることは自分でしたほうが良いと思い、マンホール^{まんほーる}などに災害^{さいがい}のための工夫^{くふう}がしてあることなどがわかりました。

その後、^{わたし}私たちは、施設見学^{しせつ}をしてわかったことや思ったことをもとに、名古屋を「水やエネルギーを大事にするまち」にするためには何をすればいいか、考えました。

それでは、^{わたし}私たちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員

第5委員の私^{わたし}たちは、「わたしの街の応急給水施設^{おうきゅう しせつ}」という地図をもらいました。そこには、下水道直結式仮設トイレ^{かせつ}の位置^{くわ}が詳しく描^{えが}かれています。このようなことを、より多くの人に伝えたい。まず、私^{わたし}の通^とっている小学校^{せんでん}のみんなに宣伝したいと思います。

もう一つ、思っていることがあります。こんなに広い範囲^{はんい}なのに、仮設トイレ^{かせつ}が1カ所しかないことです。それでは少な過ぎると私^{わたし}は思っています。なので、公園^{こうえん}や保育園^{ほいく}などの公共施設^{しせつ}に仮設トイレ^{かせつ}をもっとふやせばいいのかと思っています。

○子ども議員

私^{わたし}は、水処理センター^{しゅり}で微生物^{びせいぶつ}が水をきれいにすることに驚^{おどろ}きました。それは、微生物^{びせいぶつ}が汚^{よご}れを食べたり体にくっついたりして水を浄化^{じょうか}する仕組みです。しかも、その後の汚^{よご}れたもの、汚泥^{おでい}も燃^もやして処理^{しゅり}し、その灰^{はい}もセメントなどの原料^{げんりょう}として利用^{りよう}し、排ガス^{はいがす}もきちんと処理^{しゅり}しています。

私^{わたし}は、汚泥^{おでい}を燃^もやすときに発電^{はつでん}ができたらいいと思いました。そうすれば水処理センター^{しゅり}や浄水場^{じょうすい}で使う電力^{まかな}が賄^{まかな}えて、さらに環^{かん}境^{きょう}に優^{やさ}しくなり、第5委員会のテーマである水やエネルギーを大切に^{大切に}するまちに近づくと^{近づくと}思います。

○子ども議員

僕たちは、ふだん普通に水を使っていますね。僕たちが使った水は、水処理センターというところできれいにされます。水処理センターに流れてきた汚い水は、中にあるごみを取り除かれます。何と微生物を使います。微生物がごみを食べてくれるのです。消毒して川に戻すまでに12時間もかかります。そして、油のついたお皿は新聞紙で拭いてから洗ってください。油をそのまま流したら下水管が詰まるのでやめましょう。みんなで協力して下水道を大切にしてくださいませ。

○子ども議員

私が、一番大事だと思うのは水です。人間は2日間水を飲まないとな命が危ないと聞いたことがあります。あと、人間は料理、トイレ、洗濯とかに水をたくさん使います。でも、泡や汚れ、洗剤がまざってしまうと大変なことが起きてしまいます。そのために洗剤、泡、汚れ、そのまま海や川に流れてしまうと、私たちの大好きな魚とかがいなくなってしまうんです。そのため、人間が汚した水は人間が片づけるという提案で、今でもきれいに保たれています。だから、私も節約や水を大切にしたいです。

○子ども議員

水は、私^{わたし}たちになくってはならないものです。蛇口^{じゃぐち}をひねれば簡単^{かんたん}に水は出てくるけれども、その水をつくるために、たくさんの人が水をきれいにするために頑張^{がんば}っているのです、水を出し過ぎ^すたり無駄^{むだ}にしないように、私^{わたし}たちも心がけないといけないなと思いました。

○子ども議員

私^{わたし}は、第5委員会で、「水やエネルギーを大事にするまちづくり」のために、水の性質^{せいしつ}や歴史などを学びました。それで、名古屋が水を大事にするまちになるためにはどうすればいいかを考えました。

一つ目は、水を大切に使うことだと思います。蛇口^{じゃぐち}の水を出しっ放しにすると、必要なときに水が使えなかつたりします。

二つ目は、感謝^{かんしゃ}です。上下水道局の方々のおかげで、安心安全でおいしい水が飲めるんだと思います。

このように第5委員会で水の大切さを知りました。これから水の無駄^{むだづか}遣い^へを減らしたいです。

○子ども議員

わたしは、水の歴史資料館を見学して、安心して飲めるようにいろいろな人が苦勞をしてかかわっていることがわかりました。

わたしたちの家庭に届くまで、厳しい水質検査をしています。そして、わたしたちが水を使った後は、水処理センターに送られ、人の手や微生物を使ってきれいにして海や川に流しています。

このようにたくさん作業をして安心で安全に飲める水にしていることがわかりました。だから、私は職員さんの苦勞を無駄にしないように、今まで以上に水を大切に使います。

○子ども議員

ぼくたちが生きていくには、水が欠かせません。使用した水は水処理センターで集めてきれいにして、自然に返すということを学びました。きれいにして海や川に返すのは、生き物たちの環境を守り、ぼくたちがまた安全な水を手に入れられるということにつながっていくのではないのでしょうか。

小さな手間やちょっとした工夫で、生活排水の汚れは減らせると思います。洗剤を多く使わないとかできることから少しずつ始めて、きれいに使うように意識を変えていけばいいと思います。

○子ども議員

私は、災害のときに、給水タンク車がすぐに駆けつけてくれたり、マンホールをあけて水がもらえたりする仕組みに興味を持ちました。

水は、あらゆる人々にとって、自分の命を救う大切なものです。そんな大切な水を運ぶ給水タンク車や、すぐに水がもらえる災害時専用のマンホールなど、私たちの地域には災害時に役立つものがたくさんあります。なので、どんな人でも平等に、そして仲よく水を分け合って、問題のないように心がけていくことが大切だと思うので、協力をすると、よりよい名古屋市になると思います。

○子ども議員

僕は、水の歴史資料館の見学をして、一番心に残ったのはハザードマップでした。その中でも、水の給水のできる場所を覚えておくことが大切だと思います。

その理由は、災害時に水道が使えなくなり、飲み水がある場所がほとんどなくなる場合があるからです。僕の地区では、通っている小学校に給水場所がありました。僕はまず、今回学んだことを学校のクラスのみんなに伝えたいと思います。皆さんも災害時の給水場所を確認してみてください。

○子ども議員

僕は、災害時のときに、名古屋市の水がどう使われているかを調べました。

名古屋市は、給水タンク車などを使って、災害地へ水を届けたりしているそうです。調べてわかったことですが、東日本大震災のとき、東北の人が大行列になって水をもらいに来たそうです。そこから、災害時に水がどれだけ大切かもわかりました。皆さんも生きていくために必要な大事な水を、常に家にためておくようにしてください。

これで、僕の発表を終わります。

私たち第5委員会は、このようなことが、名古屋を「水やエネルギーを大事にするまち」にするために必要だと考えました。

これで、第5委員会の発表を終わります。



■ 鹿島経済水道委員長の答弁

第5委員会11名の皆さん、素晴らしい意見発表でしたよ。ありがとうございます。

第5委員会の皆さんには、この3日間で、水の歴史資料館での現地視察や委員会での議論を通じて、名古屋市を「水やエネルギーを大事にするまち」にするために何をすればいいのか、一生懸命考えていただきました。

施設見学では、水の循環についてや名古屋市の水道事業の歴史について学びました。また、地下式給水栓からくみ取った水の水質検査の体験や、災害時などに出動する応急給水車からの水を受け取る体験では、職員の方々にたくさん質問されていて、皆さんが大変前向きな姿勢で臨んでいるなどというふうに感心いたしました。

日ごろ何げなく飲んでいるこの水、水道水も、これほど多くの工程を通して私たちの家庭に運ばれ、使用した水は下水道から水処理センターできれいな水にしてから、川や海に戻しているということも知りましたね。水の大切さを身をもって実感できた3日間だと思います。

この第5委員会は、子ども委員長、子ども副委員長を中心によくまとまっていたと思います。この3日間に経験したこと、そしてしっかり話し合いをし、それを理解し、委員会の意見としてまとめることができました。



短い間ではありましたが、本当に充実した子ども市会であったと思います。皆さんと一緒に過ごせたことに感謝を申し上げたいと思います。

また、経済水道委員会の齊藤副委員長、日比副委員長、指導主事の原先生には、アドバイス等大変お世話になり、感謝を申し上げます。

皆さん、どうぞこれから皆さんの経験を生かしてもらい、温かい心をたくさんの方々に広めていただくことによって、よりよいまちづくりへと御協力をお願いしまして、私の答弁とさせていただきます。

お疲れさまでした。

